



Naruto University of Education Library Overview

鳴門教育大学附属図書館概要

2018

目 次

| | |
|------------------------|----|
| 特色・歴代館長・組織・機構 | 1 |
| 建物概要 | 2 |
| 開館時間・貸出・利用者教育 | 3 |
| 各種サービス・館内施設・館外施設 | 5 |
| データベース | 6 |
| 館内案内図 | 8 |
| 文庫・コレクション | 10 |
| 児童図書室 | 13 |
| 統計 | 15 |
| 沿革 | 18 |
| 規則・規程 | 25 |

特色・歴代館長・組織・機構

特色

鳴門教育大学附属図書館では、教科書、指導書、教育関係資料ほか約36万冊（平成29年度末現在）の資料を所蔵しています。利用者の教育・研究環境を充実させるため、平日は21時まで開館しており、土曜日、日曜日、祝日（学生休業期間中を除く）も開館し、一般市民にも広く開放しています。

教育関係資料では、国語・教育学分野を中心とした図書（約2万5千冊）を集めた「野地潤家文庫」（野地元学長寄贈）及び著名な教育実践家であった大村はま氏寄贈の学習の記録、文献等（約1万冊）を集めた「大村はま文庫」があり、学内外の研究者の利用に供しています。

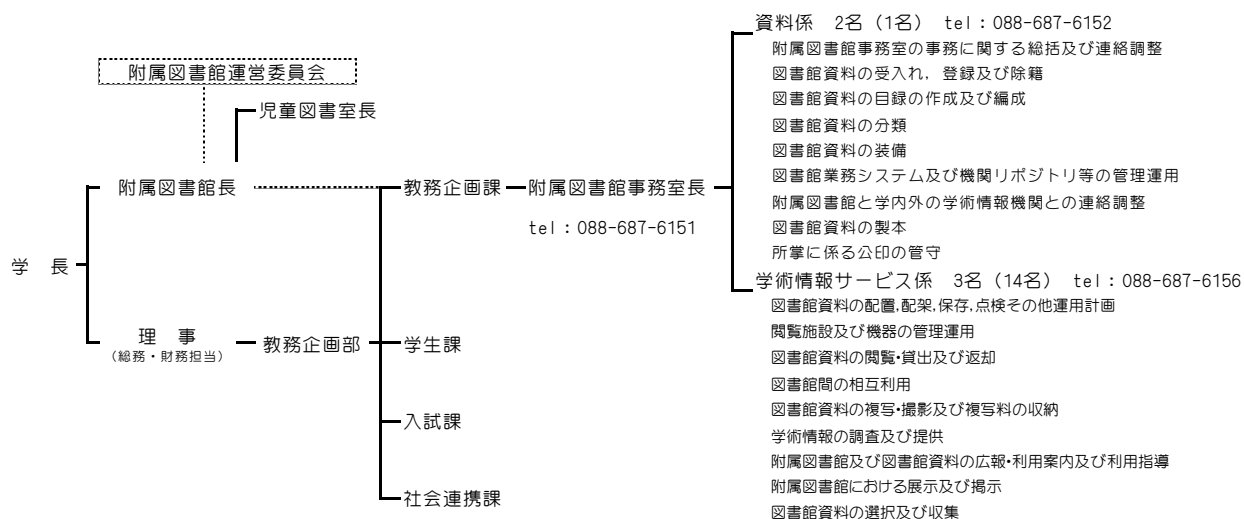
平成28年2月から利用を開始したラーニング・コモンズ室は、アクティブ・ラーニングなどの新しい学びや、より実際に近い形で授業等が行えるスペースです。小学校の教室を再現した模擬授業エリアは、電子黒板やデジタル教科書を備えており、教員採用試験対策や模擬授業等に利用されています。

また、竣工当初から地域に開かれた児童図書室を設置し、活発に活動を展開していることも大きな特色となっています。

歴代館長

| | | | | | |
|------------|--------|----|------------|---|------------|
| 事務取扱 初代 | 前田 嘉明 | 学長 | 昭和56年10月1日 | ～ | 昭和59年4月10日 |
| 第2代 | 松本 淳治 | 教授 | 昭和59年4月10日 | ～ | 昭和62年3月31日 |
| 第3代 | 小池 洋一 | 教授 | 昭和62年4月1日 | ～ | 平成元年3月31日 |
| 第4代 | 吉田 嘉高 | 教授 | 平成元年4月1日 | ～ | 平成3年3月31日 |
| 第5代 | 山下 伸典 | 教授 | 平成3年4月1日 | ～ | 平成5年3月31日 |
| 第6代 | 西 睦夫 | 教授 | 平成5年4月1日 | ～ | 平成7年3月31日 |
| 第7代 | 橋本 暢夫 | 教授 | 平成7年4月1日 | ～ | 平成9年3月31日 |
| 第8代 | 佐々木 保行 | 教授 | 平成9年4月1日 | ～ | 平成10年4月15日 |
| 第9代 | 村田 博 | 教授 | 平成10年4月16日 | ～ | 平成12年4月15日 |
| 第10代 | 橋本 泰幸 | 教授 | 平成12年4月16日 | ～ | 平成14年3月31日 |
| 第11代 | 高橋 啓 | 教授 | 平成14年4月1日 | ～ | 平成16年3月31日 |
| 第12代 | 田中 雄三 | 理事 | 平成16年4月1日 | ～ | 平成22年3月31日 |
| 第13代 | 西園 芳信 | 理事 | 平成22年4月1日 | ～ | 平成28年3月31日 |
| 第14代 | 大石 雅章 | 理事 | 平成28年4月1日 | ～ | |

組織・機構



資料係 2名 (1名) tel : 088-687-6152

附属図書館事務室の事務に関する総括及び連絡調整
 図書館資料の受入れ、登録及び除籍
 図書館資料の目録の作成及び編成
 図書館資料の分類
 図書館資料の装備
 図書館業務システム及び機関リポジトリ等の管理運用
 附属図書館と学内外の学術情報機関との連絡調整
 図書館資料の製本
 所掌に係る公印の管守

学術情報サービス係 3名 (14名) tel : 088-687-6156

図書館資料の配置、配架、保存、点検その他運用計画
 閲覧施設及び機器の管理運用
 図書館資料の閲覧・貸出及び返却
 図書館間の相互利用
 図書館資料の複写・撮影及び複写料の収納
 学術情報の調査及び提供
 附属図書館及び図書館資料の広報・利用案内及び利用指導
 附属図書館における展示及び掲示
 図書館資料の選択及び収集

注) 職員数は平成30年6月1日現在
 () 内は非常勤職員数で外数

建物概要

構造

鉄筋コンクリート造 2階建（3階機械室）

面積

| | | |
|----------|----------|-------|
| サービススペース | 閲覧スペース | 1,955 |
| | 視聴覚スペース | 47 |
| | 情報端末スペース | 40 |
| | その他 | 376 |
| 管理スペース | 書庫 | 248 |
| | 事務スペース | 258 |
| その他 | | 580 |
| 総延面積 | | 3,504 |

主要設備と床面積等

| | 設備名 | 面積㎡ | 座席数 | |
|------|--------------------------|-----------|-----|----|
| 1階 | エントランスホール | 56 | 27 | |
| | 新聞閲覧コーナー, 本の交換コーナー よみがえる | 46 | | |
| | 児童図書室 | 134 | 6 | |
| | 開架閲覧室 | 721 | 47 | |
| | 視聴覚室 | 47 | 5 | |
| | 研究個室 | 34 | 8 | |
| | 電動書架 | 110 | | |
| 2階 | 開架閲覧室 | 640 | 57 | |
| | 野地潤家文庫, 大村はま文庫 | 153 | 8 | |
| | 大村はま学習記録閲覧室 | 34 | 4 | |
| | 貴重資料室 | 47 | 6 | |
| | セミナー室1, 2, 3 | 99 | 41 | |
| | 研究個室 | 17 | 4 | |
| | 電動書架 | 110 | | |
| 館外施設 | 保存書庫 | 248 | 4 | |
| | ラーニング・commons室 | 模擬授業エリア | 76 | 30 |
| | | グループ学修エリア | 42 | 13 |

開館時間・貸出・利用者教育

開館時間

| | 通常期 | 休業期 |
|--------|-------------|------------|
| 平日 | 8:45～21:00 | 8:45～17:00 |
| 土・日・祝日 | 10:00～17:00 | 休館 |

休館日

- ・休業期間中の土曜日，日曜日，国民の祝日
- ・12月28日から翌年1月4日まで
- ・大学入試センター試験日
- ・学校教育学部一般選抜試験日
- ・全学一斉休業日

貸出

○一般貸出

貸出冊数，貸出期間

| 区分 | 図書又は製本雑誌 | | | 未製本雑誌 | |
|------------------------------|----------|-------|------|-------|-----------------|
| | 貸出冊数 | 貸出期間 | | 貸出冊数 | 貸出期間 |
| | | 図書 | 製本雑誌 | | |
| 本学の大学院学生，職員， 名誉教授，元職員，研修員 | 15冊以内 | 1か月以内 | 3日以内 | 3冊以内 | 次の開館日の 12時まで |
| 本学の学部学生・研究生等 | 10冊以内 | 3週間以内 | | | |
| 本学の卒業生及び修了生 | 8冊以内 | 1か月以内 | — | | |
| 一般利用者 | 8冊以内 | 3週間以内 | | | |

○特別貸出（本学教員対象）

貸出冊数，貸出期間

| 区分 | 貸出冊数又は種類 | 貸出期間 | 更新 |
|------|--------------|--------|----|
| 図書 | 500冊以内 | 本学在職期間 | |
| 新着雑誌 | 貸出を希望するものすべて | 1か月以内 | 不可 |

○非来館貸出

平成 16 年 11 月から図書の非来館貸出を実施しています。これは事前に利用登録をした利用者から申し込まれた図書について利用者へ郵送等により貸出を行うものです。

なお、貸出にかかる費用は申込者負担となります。

- ・利用対象者
徳島県内の現職教職員
鳴門教育大学の卒業生・修了生(日本国内)

- ・貸出冊数、貸出期間

| 区 分 | 貸出冊数 | 貸出期間 |
|------------|-------|--------|
| 徳島県内の現職教職員 | 8 冊以内 | 3 週間以内 |
| 本学の卒業生・修了生 | 8 冊以内 | 1 か月以内 |

※禁帯出資料、雑誌は借りられません。

利用者教育（平成 29 年度実績）

- ・新入生のための図書館オリエンテーション（4月）
内容：図書館見学
文献の入手方法等
- ・授業「基礎情報教育」（4月）
内容：図書館見学
図書館資料の探し方 蔵書検索（OPAC）
文献の入手方法
各種データベースの紹介等
- ・EBSCOhost利用説明会（7月）
内容：EBSCOhostの利用方法

各種サービス・館内施設・館外施設

各種サービス

| | |
|----------------------|---|
| コピーサービス (館内資料の複写) | 著作権法で認められている範囲で、教育又は研究の用に供することを目的とする場合に限り、資料の複写ができます。複写できる資料は図書館資料に限られ、複写部数は一人につき一部のみです。 |
| レファレンス | 館内資料や施設の利用方法 資料の書誌・所蔵・所在に関する調査 事実や特定の事項に関する調査 文献検索 |
| 相互利用サービス 【学内者限定】 | 学外機関への文献複写、現物貸借の依頼、受付（有料） 徳島県立図書館、鳴門市立図書館との現物貸借の依頼、受付（無料） 他大学への紹介状などの発行 |
| マイライブラリ 【学内者限定】 | 「マイライブラリ」は、インターネット上で、図書館からの連絡事項や利用者自身の貸出状況の確認、貸出期間の延長、学外機関からの文献取り寄せ（文献の複写・図書の利用）の申し込み等ができるサービスです。 |

館内施設

| | |
|-------------|--|
| 視聴覚室 | 視聴覚資料が利用できます。 英語学習コーナー、マイクロコーナーもあります。 |
| 研究個室 | 一人で静かに勉強したい時に利用できます。（4時間までの利用になっていますが、利用状況によっては延長できます。） 1階8部屋・2階4部屋 【学内者限定】【申込必要】 |
| セミナー室 | グループ学修に利用できます。1週間前から予約可能です。 2階3部屋 【学内者限定】【申込必要】 |
| 大村はま学習記録閲覧室 | 中等国語教育の実践・研究者である大村はま氏からご寄贈いただいた「学習の記録」の複製物を保管しています。 【申込必要】 |
| 貴重資料室 | 貴重資料を保管しています。 ・後藤家文書 ・大村はま「学習の記録」 ・楽譜「リヒャルト・ワーグナー/ニーベルングの指環 4部作 全曲総譜 初版本」 ・歌川広重の浮世絵「阿波鳴門之風景」 【申込必要】 |

館外施設

| | |
|----------------|---|
| 保存書庫 | 洋書、総合イギリス・アメリカ名著復刻叢書、ヨーロッパ教育思想史コレクション、修士論文、大学紀要等を置いています。 【申込必要】 |
| ラーニング・commons室 | 黒板、電子黒板や iPad を利用した模擬授業やグループ学修を行うことができます。 模擬授業エリア…【学内者限定】【申込必要】 グループ学修エリア…【学内者限定】【申込不要】 |

データベース

●本学が作成しているデータベース

・鳴門教育大学附属図書館蔵書目録（OPAC）

本学が所蔵する資料および契約している電子ジャーナル、電子書籍を探すことができます。

・鳴門教育大学学位論文要旨データベース

本学の学位論文（修士）及び最終成果報告書が検索でき、著者の許諾を得た論文は要旨も収録しています。

・鳴門教育大学機関リポジトリ

本学の構成員による研究成果を公開しています。

・後藤家文書画像データベース

本学所蔵の後藤家文書（旧阿波国名東郡早湊村組で代々組頭庄屋を勤めた後藤家が所蔵していた古文書）の本文を閲覧できる画像データベースです。

・子どもの心を理解するための絵本データベース（鳴門教育大学附属図書館児童図書室制作）

主題や子どもの心理から絵本の検索ができます。

●本学が契約しているデータベース

・医中誌 Web

国内発行の、医学・歯学・薬学・看護学及び関連分野の定期刊行物、のべ約 7,000 誌から収録した約 1,200 万件の論文情報を検索することができます。

・ざっさくプラス

明治初期から現在まで、総合雑誌・全国誌および地方で発行された雑誌記事を検索することができます。

• EBSCOhost (エブスコホスト)

学術雑誌論文を中心とした学術情報の全文, または文献データを検索することができます。本学で利用できるデータベースは以下のとおりです。

| 名 称 | 概 要 |
|---|--|
| Academic Search Premier | 人文, 社会, 自然, 医療, 理工等, 総合分野を網羅しています。約 8,600 誌に掲載された論文記事のインデックス/抄録情報を収録し, そのうち約 4,600 誌の全文情報を収録しています。 |
| Education Research Complete | 教育学関連分野の学術誌等, 2,400 誌以上のインデックス・抄録情報, また約 1,400 誌の全文情報を収録しています。550 冊以上の書籍等の全文情報も提供しています。 |
| Psychology and Behavioral Sciences Collection | 心理学・精神医学に関する雑誌論文の全文, および抄録情報を収録しています。約 540 誌の全文情報を収録しています。 |
| PyscINFO | 心理学に関連する雑誌記事, 書籍, 学位論文, 技術報告書の文献情報を収録しています。1597 年以降に出版された 2,500 誌以上におよぶ雑誌を収録しています。 |
| PsycARTICLES | アメリカ心理学会 (APA) 出版の雑誌, 並びに関連機関によって出版された雑誌, 合計 100 誌以上のインデックス・抄録, また全文情報を収録しています。 |
| MathSciNet | 世界の数学文献をカバーする書誌・抄録を収録しています。アメリカ数学会が提供しています。 |
| ERIC | 世界最大の教育学関係文献情報を収録しています。 |
| Library, Information Science & Technology Abstracts | 図書館情報学分野を網羅しています。900 誌以上のインデックス・抄録情報を収録し, そのうち 350 誌以上の全文情報を収録しています。 |

• SpringerLink

SpringerLink の電子ジャーナル約 1600 タイトル (2000 年～), 電子ブック (Behavioral Science 569 タイトル, Lecture Notes in Computer Science 1196 タイトル) を利用できます。

• Maruzen eBook Library

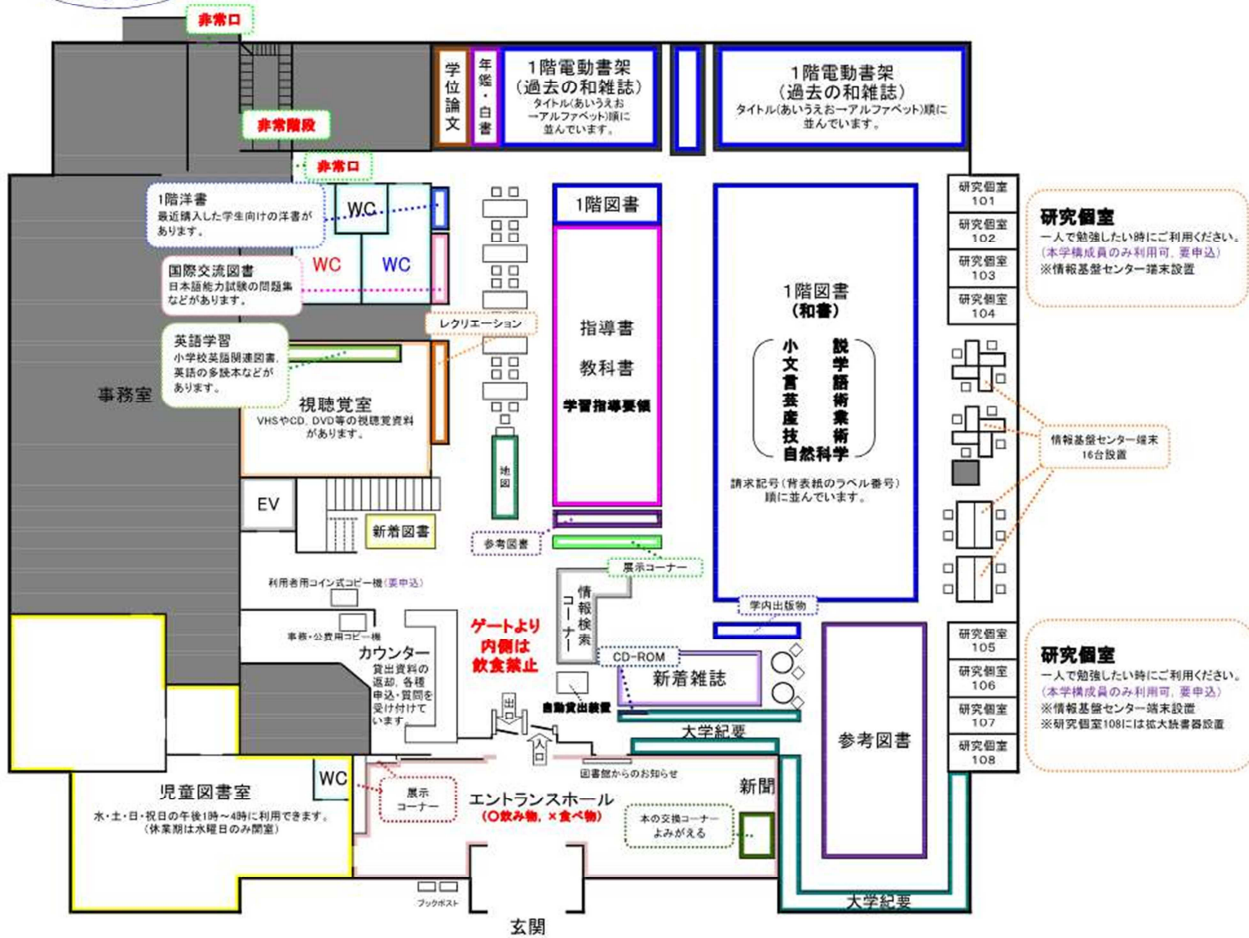
電子書籍を PDF で閲覧できます。人文科学, 社会科学, 理工学部分野にわたる 161 タイトルの電子書籍の全文が利用できます。

• 聞蔵IIビジュアル

朝日新聞 (1985 年～), アエラ, 週刊朝日, 朝日新聞縮刷版 (1879 年～1989 年) の記事を検索・収集・閲覧することができます。

館内案内図

1階



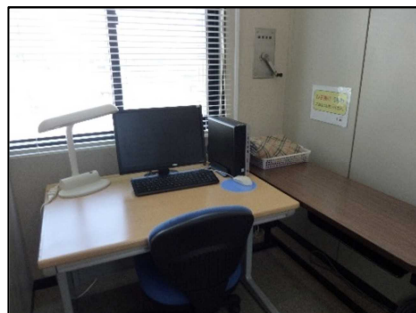
本の交換コーナー よみがえる



1階情報検索コーナー

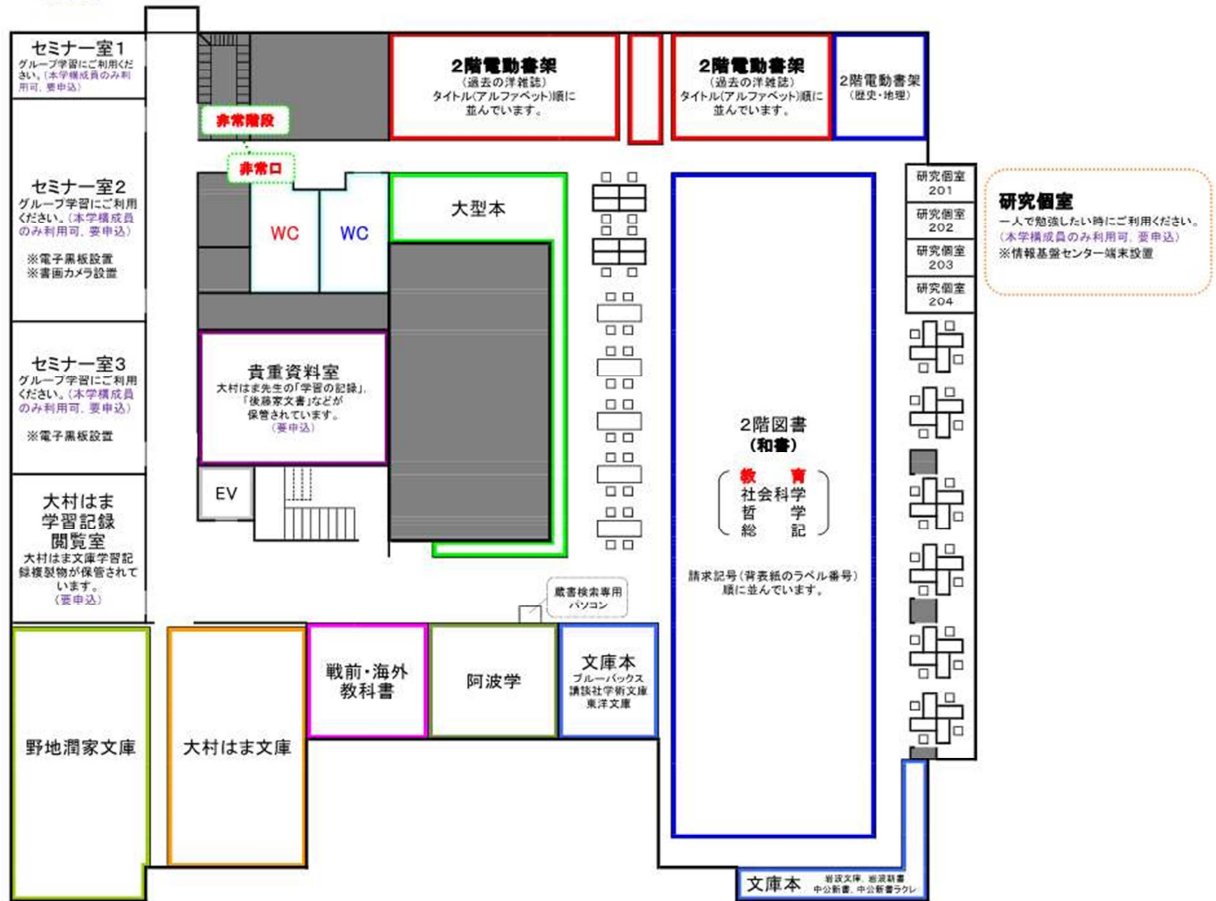


英語学習コーナー (1階視聴覚室内)



研究個室

2階



セミナー室1



セミナー室2



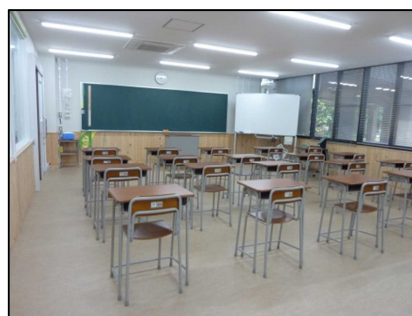
セミナー室3

館外施設

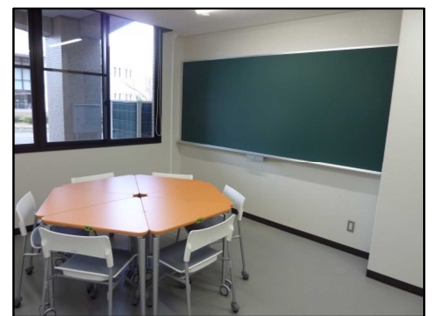
図書館外に保存書庫, ラーニング・commons室を設置しています。



保存書庫



ラーニング・commons室 模擬授業エリア



ラーニング・commons室 グループ学修エリア

文庫・コレクション

●野地潤家文庫

本学の元学長野地潤家氏からの寄贈文庫です。

野地潤家氏が、次の時代を担う教職者の育成に当たりながら、教科教育学の構築を目指して日夜研究に専念するなかで収集した文献のなかから、鳴門教育大学の教育研究のため、研究テーマに即して選び出して寄贈されたものです。その内容は、専門の国語教育学関係文献のみならず、文学・教育学・心理学、児童の言語発達、国民の話し聞く言語生活・言語文化、各時代の教育内容（教科書）、外国の国語教育に及んでいます。

[所在場所] 野地潤家文庫

●大村はま文庫

中等国語教育の実践・研究者である大村はま氏からの寄贈文庫です。

大村はま氏が永年にわたって単元学習を中核として指導してきた教え子の方々の学習の記録、及び、指導記録・指導資料類、ならびに実践・研究のため収集した文献を寄贈されたものです。(学習の記録 2,060 冊, 単元学習実践資料約 500 点, 文献約 10,000 冊)

「学習の記録」については、複製物を作成し、大村はま学習記録閲覧室に保管しています。

[所在場所] 文献・・・大村はま文庫

学習の記録・・・貴重資料室

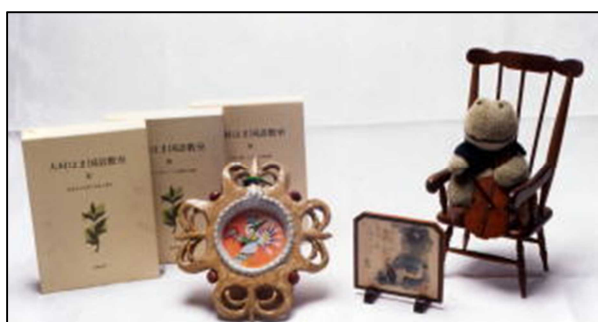
学習記録複製物・・・大村はま学習記録閲覧室



野地潤家文庫・大村はま文庫入口付近



野地潤家文庫



大村はま文庫



大村はま学習記録閲覧室

●後藤家文書

旧阿波国名東郡早淵村組で代々組頭庄屋を勤めた後藤家が所蔵していた古文書で、支配、年貢、諸役、用水、土地、社会・身分関係文書一式で構成されており、旧藩時代の貴重な古文書です。

本学ウェブページ上で「後藤家文書画像データベース」を公開しています。

[所在場所] 貴重資料室



●楽譜『ニーベルングの指環』リヒャルト・ワーグナー作

Score: "Der Ring des Nibelungen" by Richard Wagner

19世紀ロマン派の大作曲家リヒャルト・ワーグナー（1813-1883）がおよそ26年の歳月をかけて完成させ、全曲上演には14時間余りを要する四部作楽劇の極めて稀な全曲総譜、初版本です。

作品は「ラインの黄金」「ワルキューレ」「ジークフリート」「神々の黄昏」の4部から成ります。

マイクロフィルム版とCD-ROM版もあります。

[所在場所] 原本・・・貴重資料室

マイクロフィルム版・・・視聴覚室

CD-ROM版・・・CD-ROMコーナー



※本学図書館では、受け入れ時より、曲名の日本語訳を「ニーベルングの指環」としておりましたが、平成30年11月1日（木）～30日（金）に開催された特別展「リヒャルト・ワーグナー『ニーベルングの指環』～附属図書館所蔵の四部作 全曲総譜 初版本 特別公開～」を機に、より一般的に使用されている日本語訳「ニーベルングの指環」を採用することにいたしました。

●総合イギリス・アメリカ名著復刻叢書 Anglistica & Americana

16世紀から20世紀前半に出版された英米文学・言語学を中心に哲学, 宗教, 社会, 科学, 芸術等各分野の名著, 稀覯本を復刻したもので全172点470冊で構成されています。いずれも原本では入手困難な文献で, 当版当時の最高学識を集大成したものばかりです。

[所在場所] 保存書庫

●ヨーロッパ教育思想史コレクション

Collection on Educational Thoughts in Europe

過去400年にわたるヨーロッパの代表的な教育思想に関する著作(初版本が中心), 教育思想家及びその著作に関する研究書等, 合計485点で構成されています。とりわけペスタロッチ関係文献は57点と充実しています。

[所在場所] 保存書庫

●米国学位論文「ピアジェ思想研究」

Dissertations about Piaget and his Theory

ピアジェの理論や研究を発展, あるいは批判した未公刊の学位論文集。

1955年から1983年までに出版されたもので, 教育学, 心理学, 哲学の領域全般にわたります。全482点。

[所在場所] 保存書庫

●物語文学書集成 <静嘉堂文庫所蔵>

物語文学書及びその関連資料 938点

マイクロフィルム 318リール

[所在場所] 視聴覚室

●歌学資料集成 <静嘉堂文庫所蔵>

和歌及び連歌俳諧, 狂歌川柳の古典籍 1133点

マイクロフィルム 252リール

[所在場所] 視聴覚室

●物語文学総瞰 <大東急記念文庫所蔵>

中古中世文学史上の代表的古典を古写・古版の稀覯書で集成

マイクロフィルム 80リール

[所在場所] 視聴覚室

児童図書室

大学図書館では珍しい児童図書室は、学生・子ども・市民の交流の場として広く地域に開かれ、学生ボランティア等による子育て支援活動が行われています。また、学生にとっては実地教育を通じた学びの場となっています。

この活動によって平成 24 年に全国学校図書館協議会より「学校図書館賞奨励賞」を受賞しました。これは大学図書館で初の受賞です。

また、平成 30(2018)年 1 月から、幼稚園・小学校等の教育支援として、学校教育現場への団体貸出を行っています。

●開室日・開室時間

| | 通常期 | 休業期 |
|--------|-------------|-------------|
| 水曜日 | 13:00～16:00 | 13:00～16:00 |
| 土・日・祝日 | 13:00～16:00 | 休室 |

●一般貸出（個人向け）

・対象者 赤ちゃんから大人までどなたでも借りられます。

・貸出冊数, 貸出期間
8 冊以内, 3 週間以内

●団体貸出

平成 30 年 1 月から、幼稚園・小学校等の教育支援として、学校教育現場への団体貸出を行っています。

・対象機関

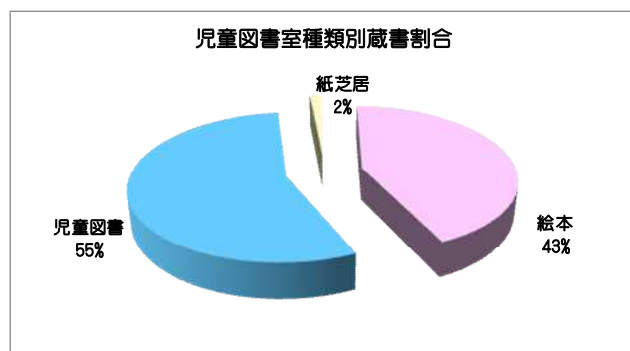
鳴門教育大学附属学校

鳴門市内の幼稚園・小学校等

鳴門教育大学 学生・卒業生・修了生の所属する幼稚園・小学校等

・貸出冊数, 貸出期間
50 冊以内, 2 ヶ月以内

●蔵書



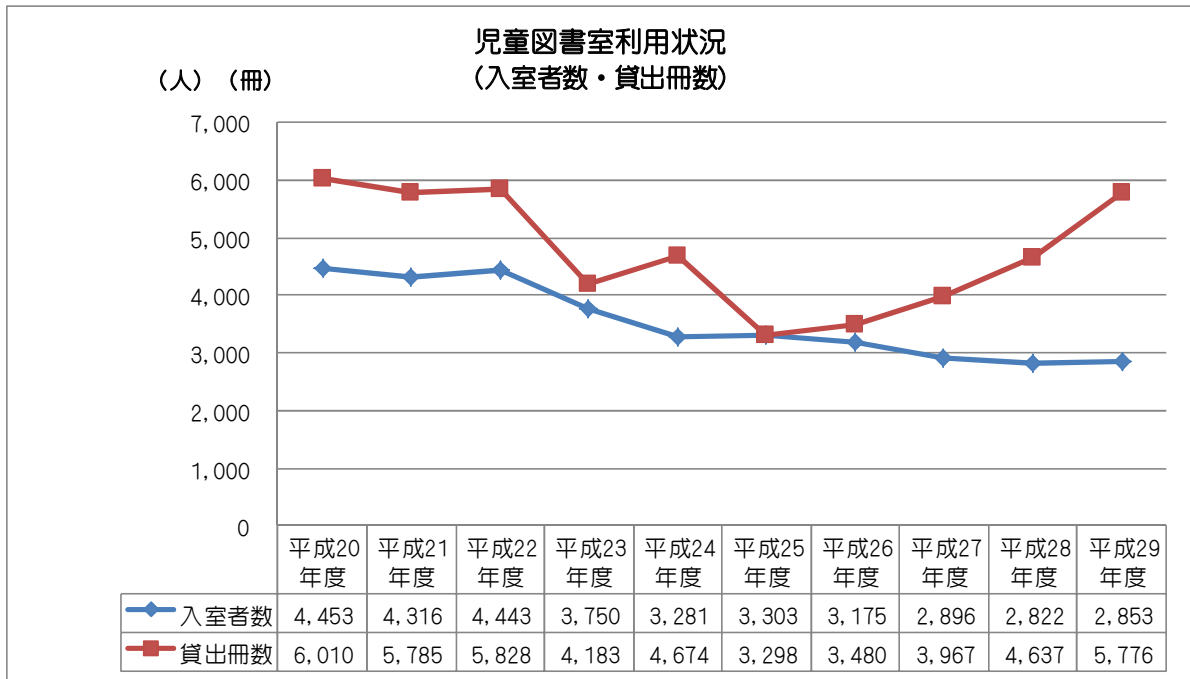
蔵書数

18,349 冊（平成 29 年度末現在）

<内訳>

| | |
|------|----------|
| 絵本 | 7,921 冊 |
| 児童図書 | 10,141 冊 |
| 紙芝居 | 287 冊 |

● 利用状況

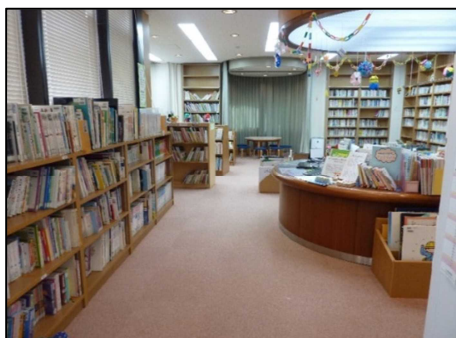


● 活動状況 (平成29年度実績)

| 主な活動内容 | 実施時期等 |
|-----------------------|--------|
| 絵本・紙芝居の読み聞かせ | 随時 |
| わらべうた講習会1, 2 | 5月, 6月 |
| 七夕会 | 7月 |
| 絵本のワークショップ | 11月 |
| 人形劇団「ころぼっくる」の公演 (大学祭) | 11月 |
| 冬のおたのしみ会 | 12月 |
| 学生さんのためのストーリーテリング | 2月 |



児童図書室入口



児童図書室内部



授乳室

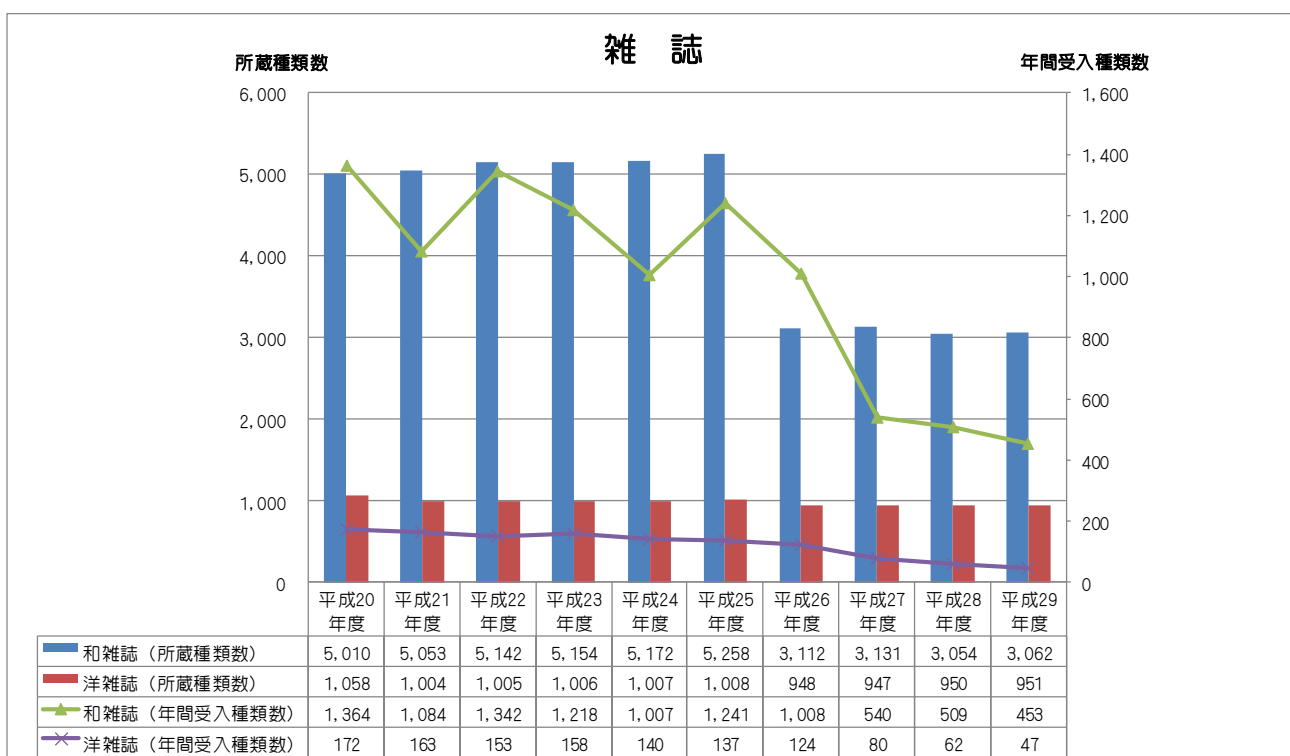
児童図書室入口横に授乳室 (ベビシート付) を設置しています。

統計

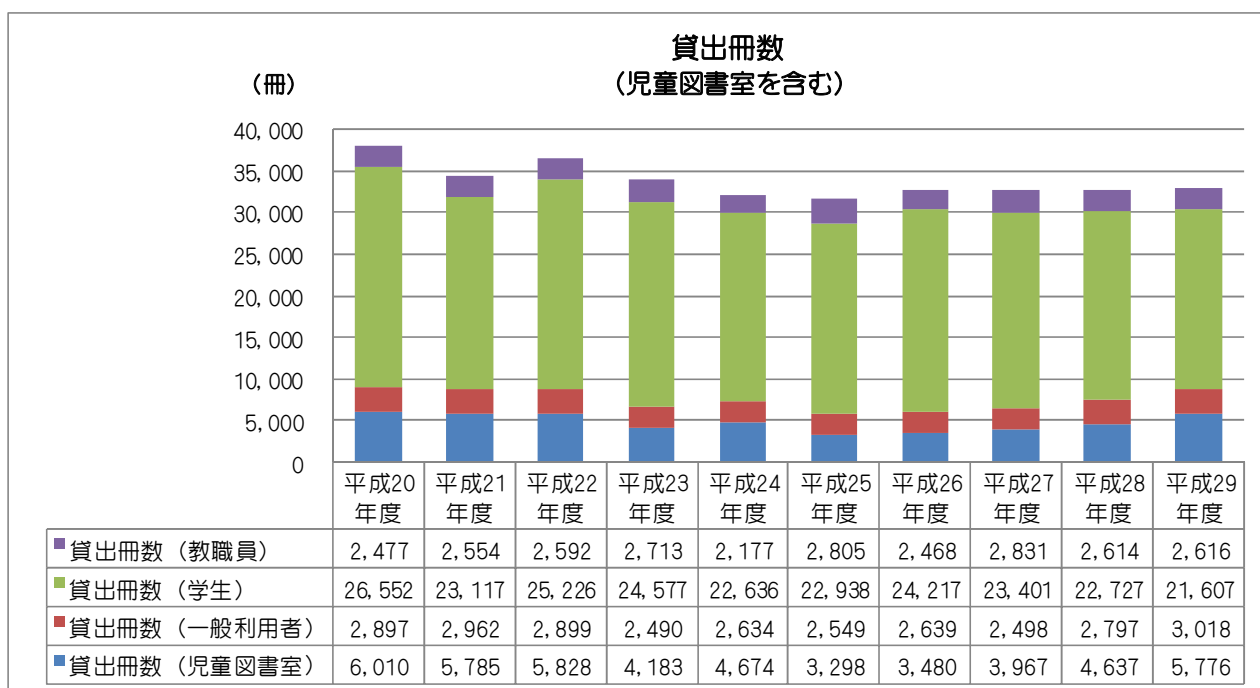
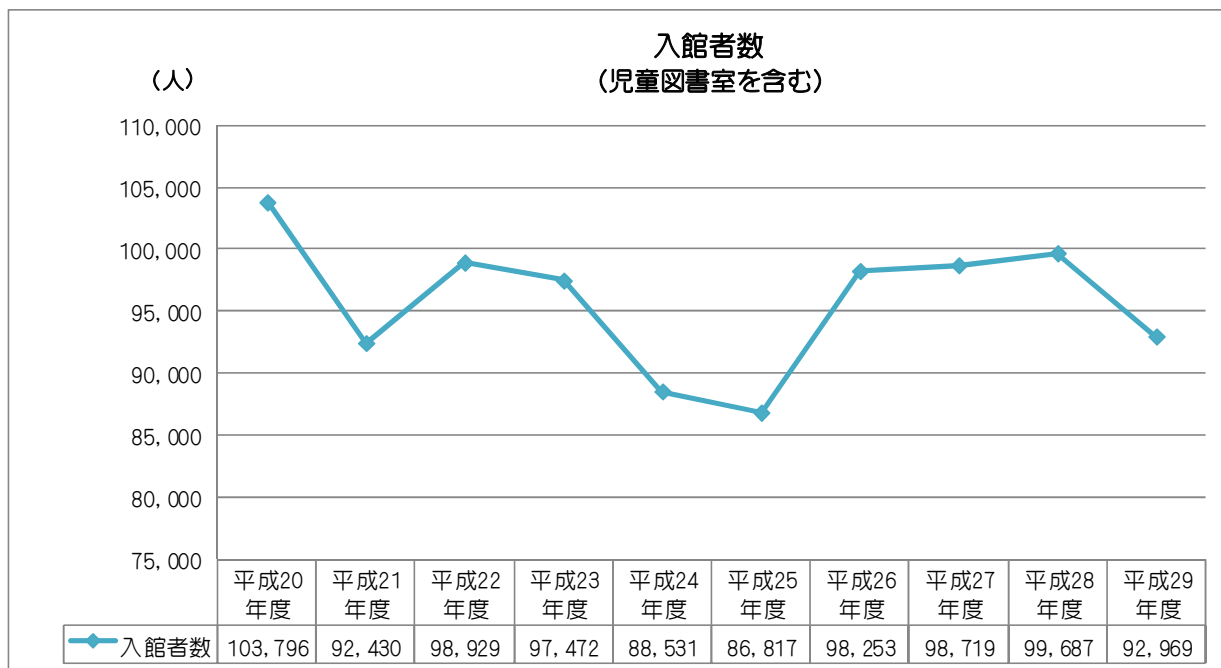
蔵書数と年間受入数の推移



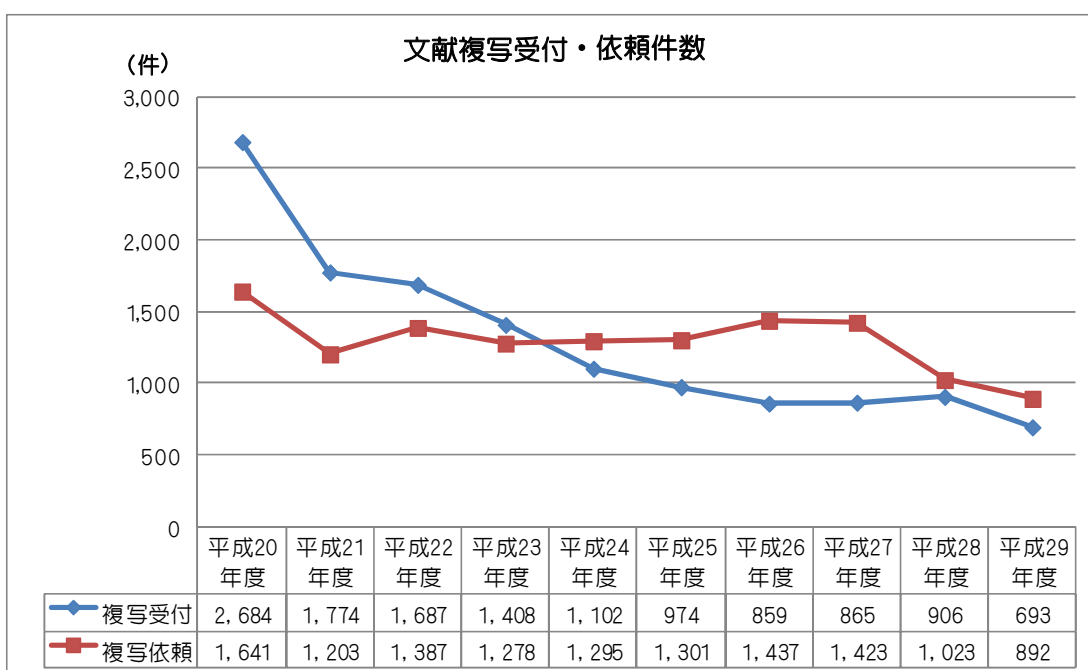
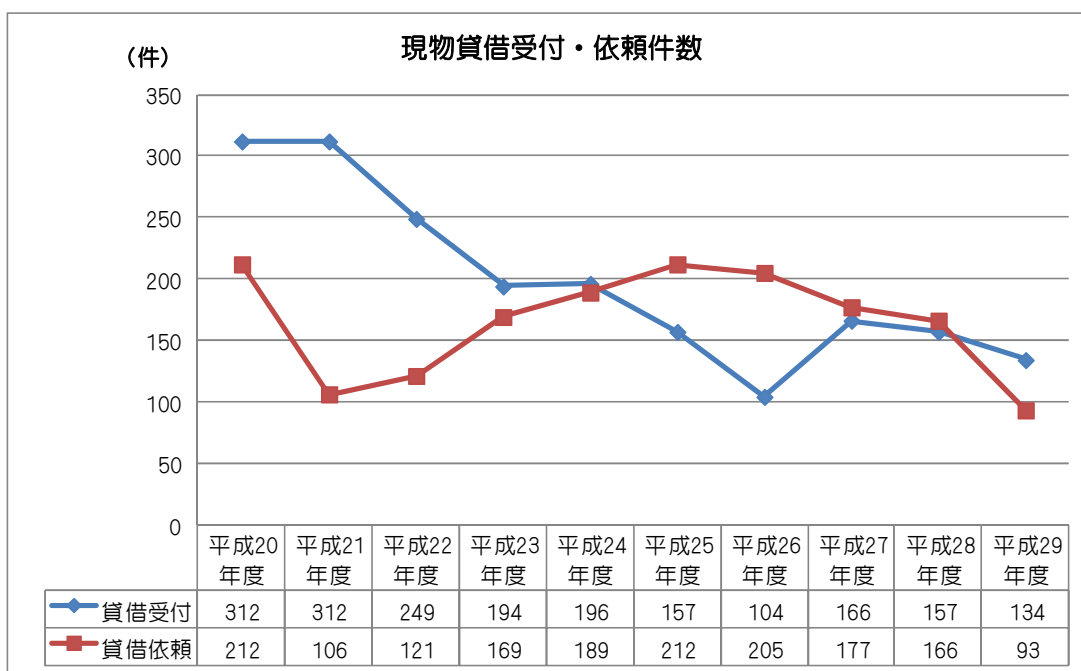
※平成28年度分から児童図書室資料（消耗品を含む）



図書館利用状況



相互協力



沿革

| 年月 | 出来事 |
|------------------|---|
| 昭和 56(1981)年 10月 | 鳴門教育大学設置（開学） |
| 昭和 59(1984)年 4月 | 人文棟内に附属図書館設置（開設） |
| | 総務課図書係をおく |
| | ブックディテクション装置を設置 |
| | 附属図書館業務電算化（第Ⅰ期）（貸出・返却業務） |
| 昭和 60(1985)年 4月 | 総務課図書係を図書課整理係・閲覧係に改組 |
| 昭和 61(1986)年 4月 | 図書課整理係・閲覧係を教務部図書課管理係・整理係・閲覧係に改組 |
| 昭和 61(1986)年 7月 | 附属図書館新館着工 |
| 昭和 62(1987)年 3月 | 附属図書館新館竣工 |
| 昭和 62(1987)年 4月 | 附属図書館業務システムリプレース（第Ⅱ期）（貸出・返却業務） |
| | 附属図書館新館でのサービス開始 |
| 昭和 62(1987)年 5月 | 附属図書館児童図書室開室 |
| 平成 2(1990)年 2月 | 学術情報センターと接続，NACSIS-CAT 開始 |
| 平成 2(1990)年 4月 | 附属図書館業務システムリプレース（第Ⅲ期）（閲覧全般，図書・雑誌受入・目録作成業務及び学術情報センターとの接続による学術情報システムネットワークへの参画） |
| | 遡及入力開始 |
| 平成 4(1992)年 3月 | 遡及入力完了 |
| 平成 4(1992)年 4月 | NACSIS-ILL 開始 |
| 平成 5(1993)年 4月 | 整理係を目録情報係に，閲覧係を情報サービス係に名称変更 |
| 平成 5(1993)年 10月 | 野地潤家文庫閲覧開始 |
| 平成 6(1994)年 7月 | 野地潤家文庫（第Ⅰ期分）整理完了 |
| 平成 8(1996)年 2月 | 附属図書館業務システムリプレース（第Ⅳ期） |
| 平成 8(1996)年 6月 | 附属図書館ホームページ開設 |
| 平成 8(1996)年 8月 | 大村はま文庫整理開始・閲覧開始 |
| 平成 9(1997)年 10月 | 「教科教育実践学（国語科）関係資料データベース」検索システムをホームページで公開 |
| 平成 11(1999)年 3月 | 文献検索性 CD-ROM サーバ導入 |
| 平成 11(1999)年 4月 | CD-ROM ネットワークサービス開始（ERIC，雑誌記事索引） |
| | コイン式複写機設置 |
| | 電子ジャーナルの提供（IDEAL，IOP，SD21） |
| 平成 12(2000)年 2月 | 附属図書館業務システムリプレース（第Ⅴ期） |
| 平成 12(2000)年 3月 | 視聴覚室機器更新 |
| | 1 階固定書架増速・閲覧座席削減 |
| 平成 12(2000)年 4月 | 日曜，祝日開館開始 |
| 平成 12(2000)年 6月 | 「教育情報処理Ⅰ」講義（2 コマ）担当 |
| 平成 12(2000)年 10月 | WEB サービス（貸出予約，貸出状況確認，ILL 申込）の開始 |
| 平成 13(2001)年 3月 | 電動集密書架の修理 |
| | 2 階固定書架増速・閲覧座席削減 |
| | 放送大学受信装置の設置，無線 LAN 設備設置，閲覧室電源増設 |
| 平成 13(2001)年 4月 | 「附属図書館運営の基本方針・目標」策定 |
| | 他講座購入図書からの「特別貸出」開始 |
| | 電子ジャーナル提供（OUP） |
| 平成 13(2001)年 9月 | 共通雑誌見直し |
| | 図書館ホームページリニューアル（第Ⅲ期） |
| | 鳴門教育大学創立 20 周年附属図書館公開事業：資料展示「本と生きる」 |
| 平成 14(2002)年 1月 | 文献画像伝送システム導入 |

| | |
|------------------|---|
| 平成 14(2002)年 3月 | ブックディテクションシステム更新, マイクロリーダープリンター更新 参考図書書架増設 児童図書室利用者用パソコンをタッチパネル式に更新 |
| 平成 14(2002)年 4月 | 鳴門教育大学教育文献情報データベースを提供 機関別定額制 NACISIS-IR 導入 (雑誌記事索引は CD-ROM 版から移行), PsycINFO 導入, ERIC を Web 公開版に移行 電子ジャーナル提供 (ScienceDirect, Wiley InterScience, Springer LINK, OUP) WEB サービスにメールオプション導入 「臨床心理学文献演習」講義に協力 |
| 平成 14(2002)年 5月 | 情報検索説明会 |
| 平成 14(2002)年 7月 | 大村はま文庫に追加寄贈 1 万冊 情報検索ガイダンス (~9 月) |
| 平成 14(2002)年 8月 | 私費用カラーコピー機導入 |
| 平成 14(2002)年 10月 | Physical Education Index 提供 (有料トライアル) 学生用図書購入費による購入雑誌見直し |
| 平成 14(2002)年 11月 | 鳴門市学校図書館資源共有型モデル地域事業への協力 |
| 平成 14(2002)年 12月 | 国立情報学研究所メタデータデータベース共同構築事業に参加 |
| 平成 15(2003)年 3月 | 国立情報学研究所研究紀要ポータルに参加 セミナー室増設 参考図書書架増設, 移設 (大村はま文庫, 新着雑誌コーナー, 大学紀要コーナー, 大型本コーナー, 国際交流図書コーナー) 児童図書室に鳴門市学校図書館システム用パソコン導入 カラー拡大読書器設置 |
| 平成 15(2003)年 4月 | 阿波学コーナー開設 電子ジャーナル提供 (Kluwer OnLine, EBSCO Academic Search Elite, Wiley InterScience, Springer LINK, OUP) 携帯電話対応版ホームページ開設 (開館情報) |
| 平成 15(2003)年 6月 | 後藤家文書から「名東縣新聞」発見 |
| 平成 15(2003)年 7月 | 情報検索ガイダンス (~9 月), 電子ジャーナル説明会, EBSCOhost 利用説明会 |
| 平成 15(2003)年 11月 | 新聞記事データベース (毎日・朝日・読売) トライアル (~16 年 2 月) 情報検索ガイダンス (~12 月), EBSCOhost 利用説明会 |
| 平成 16(2004)年 3月 | 後藤家文書の整理ほぼ終了 ABC-ST (自動貸出装置) 導入 |
| 平成 16(2004)年 4月 | 国立大学法人化に伴い, 教務部図書課管理係・目録情報係・情報サービス係を総務部情報図書課資料係・サービス係に改組 平日の開館時間延長 (通常期 9 時~20 時→8 時 45 分~20 時 30 分) (休業期 9 時~17 時→8 時 45 分~17 時 30 分) 貸出冊数・貸出期間の変更 電子ジャーナル提供 (EBSCO Academic Search Elite, Kluwer OnLine, Springer LINK, Wiley InterScience) 毎日 News パック提供開始 |
| 平成 16(2004)年 6月 | 市民のための「図書館利用ガイダンス」 |
| 平成 16(2004)年 7月 | 情報検索ガイダンス (~9 月) |
| 平成 16(2004)年 8月 | 館長室を多目的室に改修 (~9 月) |
| 平成 16(2004)年 9月 | EBSCOhost 利用説明会 |
| 平成 16(2004)年 10月 | EBSCOhost による PsycARTICLES, RILM, Art Abstracts, SPORTDiscus トライアル (~12 月) |
| 平成 16(2004)年 11月 | 徳島県内の現職教職員および鳴門教育大学の卒業生・修了生に対する図書の非来館貸出を実施 JapanKnowledge, 「ネットで百科 for Library」トライアル (~12 月) 特別展「生誕 150 年記念 徳島に生きつづけるモラエス」 (11 月 19 日~12 月 12 日) |

| | |
|--------------------------|---|
| 平成 16(2004)年 12 月 | 市民のための「情報検索ガイダンス」 |
| 平成 17(2005)年 2 月 | 附属図書館業務システムリプレース (第 VI 期) |
| 平成 17(2005)年 4 月 | 電子ジャーナル提供 (EBSCO Academic Search Elite, Springer LINK, Wiley InterScience) |
| | NII 学術コンテンツ・ポータル (GeNii) (機関定額制) 提供 PsycINFO, 毎日 News パック提供 |
| | JapanKnowledge 提供開始 |
| 平成 17(2005)年 5 月 | 市民のための「図書館利用ガイダンス」 「阿波の古地図」の展示解説 (立岡助教授) |
| | Scopus 利用説明会 (ゼファー社) およびトライアル (~18 年 3 月) |
| 平成 17(2005)年 6 月 | 特別展「大村はま先生追悼展示会－優劣のあなたに－」 Royal Society of Chemistry (RSC) 電子ジャーナルアーカイブ トライアル |
| | 蔵書点検作業 (9 月 5 日～9 月 22 日) |
| 平成 17(2005)年 9 月 | EBSCOhost による PsycINFO, PsycARTICLES, RILM, Art Abstracts, SPORTDiscus トライアル (~11 月) |
| | 平成 17 年度科学研究費補助金 (研究成果公開促進費) データベース (研究成果データベース) による 後藤家文書の撮影および画像データ作成作業 (~18 年 1 月) |
| 平成 17(2005)年 10 月 | EBSCOhost 利用説明会 特別展「地図に見る戦前－日本とアジア－」 (10 月 22 日～11 月 3 日) |
| | 情報検索ガイダンス |
| 平成 17(2005)年 11 月 | 空気調和設備改修工事 (~12 月) |
| 平成 17(2005)年 12 月 | 利用者懇談会 (学部生, 大学院生) |
| 平成 18(2006)年 2 月 | 展示会「写真でつづる児童図書室の 20 年」 (2 月 4 日～3 月 31 日) |
| 平成 18(2006)年 3 月 | 「地域に開かれた鳴門教育大学の児童図書室－20 年のあゆみ－」 (鳴門教育大学附属図書館児童図書室) 刊行 |
| 平成 18(2006)年 4 月 | 児童図書室の貸出期間を 2 週間から 3 週間に延長 |
| | 所在名称の変更 (特別資料室→貴重資料室 等) |
| | 電子ジャーナル提供 (EBSCO Academic Search Elite, SpringerLINK, Wiley InterScience) |
| | NII 学術コンテンツ・ポータル (GeNii) (機関定額制), PsycINFO, 毎日 News パック, JapanKnowledge 提供 |
| | LLBA, MathSciNet 提供開始 |
| | Scopus トライアル期間延長 (~19 年 3 月) |
| | Blackwell 電子ジャーナルコレクション トライアル (~6 月) |
| Spring Fair「小学校における英語教育」 | |
| 平成 18(2006)年 5 月 | 特別展「敗者へのいたわり－松江豊寿と二つの俘虜収容所－」 (5 月 13 日～6 月 11 日) |
| 平成 18(2006)年 7 月 | Summer Fair「阿波名所函会の世界」 情報検索ガイダンス |
| | 学部前期試験期間の開館時間の延長 (試行) |
| 平成 18(2006)年 8 月 | 教育著作権セミナー |
| | 蔵書点検作業 (9 月 1 日～9 月 22 日) |
| 平成 18(2006)年 9 月 | 修士論文閲覧席を設ける |
| | 実地教育期間の開館時間の延長 (試行) |
| | Springer Online Journal Archives 提供開始 |
| | 情報検索ガイダンス |
| 平成 18(2006)年 10 月 | Autumn Fair「芸術の秋・食欲の秋」 中国四国地区 10 大学アクセスツール共同トライアル (~12 月) |
| | 外国雑誌をパソコンで読もう!! EBSCOhost 利用説明会 |
| 平成 18(2006)年 11 月 | 利用者懇談会 (学部生, 大学院生) |
| 平成 18(2006)年 12 月 | Winter Fair「大正・昭和の広重 吉田初三郎のパノラマ地図」 |

| | |
|--|--|
| | 学習指導要領および解説を教科書コーナーに集中化 |
| 平成 19(2007)年 3月 | Spring Fair「寂聴・愛の時代展」 |
| | 館内施設の改修（カーペットの張替等） |
| | 後藤家文書 画像データベース公開 |
| 平成 19(2007)年 4月 | 鳴門市立図書館との協力活動開始 |
| | 通常期間中の平日、土・日・祝日の開館時間延長（平日 8時45分～20時30分→8時45分～22時）（土・日・祝日 10時30分～17時→11時～18時） |
| | 電子ジャーナル提供（EBSCO Academic Search Elite, SpringerLINK, Wiley InterScience） |
| | NII 学術コンテンツ・ポータル（GeNii）（機関定額制）、PsycINFO, 毎日 News パック, JapanKnowledge 提供 |
| 平成 19(2007)年 5月 | EBSCO A-to-Z（電子ジャーナル・タイトルリスト）提供開始 |
| 平成 19(2007)年 7月 | 特別展「地域に生きる遍路文化」（5月26日～6月30日） |
| 平成 19(2007)年 8月 | 総務部情報図書課資料係・サービス係を総務部学術環境課学術情報チームに改組 |
| 平成 19(2007)年 10月 | 蔵書点検作業（8月27日～9月21日） |
| 平成 19(2007)年 11月 | Autumn Fair「多彩に味わう阿波文化ー徳島の味ー」 |
| | 情報検索ガイダンス（10月22日～11月30日） |
| 平成 19(2007)年 12月 | 利用者懇談会（学部生, 大学院生） |
| | EBSCOhost 利用説明会 |
| 平成 20(2008)年 1月 | Winter Fair「楽しいクリスマス」 |
| | EBSCO A-to-Z（電子ジャーナル・タイトルリスト）において日本語での検索開始 |
| 平成 20(2008)年 4月 | 展示会「江戸を歩くー地図が語る歴史文化ー」（鳴門市立図書館共催, 1月5日～1月27日） |
| | 新春 Fair「しかけ絵本と江戸凧」 |
| | Web of Science 利用説明会およびトライアル（～20年3月） |
| 平成 20(2008)年 6月 | 企画展示「「何を」「どれだけ」食べたらいいの？-健康的な食生活へ向けて-」 |
| | 電子ジャーナル提供（EBSCO Academic Search Elite, SpringerLINK, Wiley InterScience） |
| 平成 20(2008)年 7月 | NII 学術コンテンツ・ポータル（GeNii）（機関定額制）、PsycINFO, 毎日 News パック, JapanKnowledge 提供 |
| | 学内出版物コーナー開設 |
| 平成 20(2008)年 9月 | 情報検索ガイダンス（6月11日, 13日） |
| 平成 20(2008)年 10月 | 蔵書点検作業（7月7日～7月31日） |
| 平成 20(2008)年 11月 | 大村はま文庫「学習の記録」複製物の作成（9月1日～2月27日） |
| | EBSCOhost 利用説明会 |
| 平成 21(2009)年 1月 | Autumn Fair「読書の秋ー読んで見よう文学賞受賞作品ー」 |
| | 展示会「源氏物語千年紀ー光源氏とヒロインたちー」（11月1日～11月16日） |
| 平成 21(2009)年 3月 | 利用者懇談会（学部生, 大学院生） |
| | 電子ジャーナル（Wiley InterScience）契約中止 |
| 平成 21(2009)年 4月 | 飲料自動販売機の設置（1階エントランスホール） |
| | 一人用机, 研究個室, セミナー室にセンター端末の増設（30台） |
| 平成 21(2009)年 4月 | 総務部学術環境課学術情報チームから教務部教務課図書チームへ名称変更 |
| | 休業期間中の平日の開館時間変更（8時45分～17時30分→8時45分～17時15分） |
| | 会議室の名称変更→セミナー室1 セミナー室1の名称変更→大村はま学習記録閲覧室 |
| | 大村はま学習記録閲覧室利用開始 |
| | Spring Fair「歩き遍路と地域社会研究」 |
| | JapanKnowledge 講習会（4月23日） |
| | 電子ジャーナル提供（EBSCO Academic Search Elite, SpringerLINK） |
| NII 学術コンテンツ・ポータル（GeNii）（機関定額制）、PsycINFO, 毎日 News パック | |

| | |
|-------------------|--|
| | ク, JapanKnowledge 提供 |
| 平成 21(2009)年 5 月 | 展示会「名所図会と徳島ー阿波名所図会を楽しむー」(鳴門市立図書館共催, 5月7日~6月3日) |
| 平成 21(2009)年 9 月 | 蔵書点検作業(9月7日~9月25日) 中国四国地区国立大学図書館貴重資料等共同展示に参加ー地域からみた江戸時代の四国遍路ー |
| 平成 21(2009)年 12 月 | 自動貸出装置の更新(ABC-T1 の導入) 情報検索ガイダンス EBSCOhost 利用説明会 利用者懇談会(学部生, 大学院生) |
| 平成 22(2010)年 1 月 | 図書館システム更新に伴う WEB サービス(貸出予約, 貸出状況確認, ILL 申込)の停止 |
| 平成 22(2010)年 2 月 | 附属図書館業務システムリプレース |
| 平成 22(2010)年 3 月 | 保存書庫竣工 洋書コーナー, 戦前・戦中・戦後図書コーナーの保存書庫への移転作業 |
| 平成 22(2010)年 4 月 | 保存書庫利用開始 土・日・祝日の開館時間延長(11時~18時 → 10時~18時) |
| 平成 22(2010)年 5 月 | 図書館ウェブページをリニューアル 情報検索ガイダンス(5月24日) EBSCOhost 利用説明会 |
| 平成 22(2010)年 6 月 | マイライブラリ(旧 Web ページ)の利用開始 携帯版 OPAC の提供開始 |
| 平成 22(2010)年 9 月 | 蔵書点検作業(9月6日~24日) |
| 平成 22(2010)年 10 月 | 故大村はま氏の業績を紹介する 2 枚の展示パネルを設置 児童図書室の蔵書を図書館業務システムへ登録開始 |
| 平成 22(2010)年 12 月 | 利用者懇談会(学部生・大学院生) |
| 平成 23(2011)年 5 月 | EBSCOhost 利用説明会 |
| 平成 23(2011)年 6 月 | 蔵書点検作業(6月14日~23日, 8月22日~9月9日) |
| 平成 23(2011)年 9 月 | 特別展「描かれた近世阿波の風景」(本学附属図書館: 9月25日~10月5日, 鳴門市立図書館: 10月8日~23日) |
| 平成 23(2011)年 12 月 | 利用者懇談会(学部生, 大学院生) |
| 平成 24(2012)年 1 月 | Springer eBooks の提供開始 |
| 平成 24(2012)年 2 月 | 電子黒板の導入(セミナー室 3) 視聴覚室機器の更新(6ブース→4ブース) |
| 平成 24(2012)年 3 月 | 「学位論文要旨データベース」と「子どもの心を理解するための絵本データベース」をリニューアル |
| 平成 24(2012)年 4 月 | セミナー室増設(2部屋→3部屋) マイライブラリの学外からの利用を許可 |
| 平成 24(2012)年 6 月 | 児童図書室が「学校図書館賞奨励賞」を受賞 「学校図書館賞奨励賞」の受賞を記念した展示会(平成 24 年 6 月 14 日~平成 25 年 10 月 31 日) |
| 平成 24(2012)年 7 月 | 蔵書点検作業(7月2日~27日) |
| 平成 24(2012)年 10 月 | 保存書庫の電動式集密書架設置 |
| 平成 24(2012)年 11 月 | 保存書庫の電動式集密書架利用開始 |
| 平成 25(2013)年 1 月 | 児童図書室にベビーベット設置 利用者懇談会(学部生, 大学院生) |
| 平成 25(2013)年 3 月 | 推薦図書紹介「わたしの本棚から」開設 セミナー室 1・3 の机・椅子更新 |
| 平成 25(2013)年 4 月 | ざっさくプラスの提供開始 |
| 平成 25(2013)年 6 月 | 蔵書点検作業(6月24日~8月19日) |
| 平成 25(2013)年 11 月 | 特別展「モラエスが伝えた徳島」(11月1日~17日) |

| | |
|-------------------|--|
| 平成 26(2014)年 1 月 | 利用者懇談会（学部生，大学院生） |
| 平成 26(2014)年 2 月 | 附属図書館業務システムリプレイス |
| 平成 26(2014)年 3 月 | 屋上防水シートの貼り替え |
| | LED 照明への変更 セミナー室 2 の机・椅子更新 |
| 平成 26(2014)年 4 月 | 教務課附属図書館事務室図書チームから教務企画課附属図書館事務室資料係，学術情報サービス係へ名称変更 |
| | 学内ワークスタディの導入 |
| | 間蔵 II ビジュアルの提供開始 |
| 平成 26(2014)年 7 月 | 蔵書点検作業（7 月 7 日～8 月 18 日） |
| 平成 26(2014)年 8 月 | 臨時休館（8 月 25 日～9 月 12 日）（電動式集密書架の更新作業のため） |
| 平成 26(2014)年 9 月 | 附属図書館 1 階・2 階の電動式集密書架を更新 |
| 平成 26(2014)年 10 月 | 附属図書館 1 階・2 階の電動式集密書架利用開始 |
| | 一般図書（歴史，地理分野）を 2 階の電動式集密書架に移動 |
| | 写真展「鳴門教育大学の歩み」（附属図書館エントランスホール，10 月 27 日～12 月 26 日） |
| 平成 27(2015)年 1 月 | ブックディテクションシステム(BDS)を更新 |
| 平成 27(2015)年 2 月 | 国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」利用開始 |
| | 屋上防水シートの貼り替え |
| | 利用者懇談会（学部生，大学院生） |
| | Maruzen eBook Library の提供開始 |
| | 児童図書室資料のオンライン貸出・返却開始(2 月 18 日～) |
| 平成 27(2015)年 3 月 | 現行教科書，指導書を 1 階閲覧室に移動 |
| | 阿波学コーナーを 2 階閲覧室に移動 |
| | 電子黒板の導入(セミナー室 2) |
| | 館外のブックポストを更新 |
| | 書籍消毒機，除菌 BOX の導入 |
| 平成 27(2015)年 7 月 | 蔵書点検作業（7 月 6 日～8 月 28 日） |
| 平成 27(2015)年 9 月 | 特別展「人々に示された日本一流宣図から伊能図 その後へ」（徳島県教育会館：9 月 26 日～10 月 18 日） |
| 平成 28(2016)年 2 月 | ラーニング・コモンズ室の利用開始（2 月 1 日～） |
| | 利用者懇談会（学部生，大学院生） |
| 平成 28(2016)年 3 月 | 徳島県立図書館との連携協力に関する覚書締結 |
| | 児童図書室のトイレ改修及び授乳室の設置 |
| 平成 28(2016)年 4 月 | 通常期間中の平日，土・日・祝日の開館時間変更（平日 8 時 45 分～21 時）（土・日・祝日 10 時～17 時） |
| | 休業期間中の平日の開館時間変更（平日 8 時 45 分～17 時） |
| 平成 28(2016)年 6 月 | 特別展「野地潤家先生追悼展示会」（6 月 13 日～7 月 3 日） |
| 平成 28(2016)年 7 月 | 蔵書点検作業（7 月 4 日～8 月 26 日） |
| 平成 28(2016)年 8 月 | 徳島県立図書館の本を取り寄せるサービス開始 |
| 平成 28(2016)年 9 月 | 「暮らしの手帖」フェア（9 月 1 日～9 月 30 日） |
| 平成 28(2016)年 11 月 | 読書週間等における図書館展示フェア（野地潤家先生追悼展示会：11 月 8 日～11 月 13 日，「暮らしの手帖」フェア：11 月 1 日～11 月 30 日） |
| 平成 28(2016)年 12 月 | 利用者懇談会（学部生，大学院生） |
| 平成 29(2017)年 3 月 | 国立大学法人徳島大学，国立大学法人鳴門教育大学，徳島県及び徳島県教育委員会による図書館活動の連携協力に関する協定を締結（3 月 28 日） |
| | 自動貸出装置の更新(ABC-T1) |
| 平成 29(2017)年 4 月 | 教務企画課附属図書館事務室資料係，学術情報サービス係から教務企画部教務企画課附属図書館事務室資料係，学術情報サービス係へ改組 |
| 平成 29(2017)年 6 月 | 消費者教育プロジェクトとの連携で附属図書館テーマ展示「消費者教育」を実施（6 月 26 日～7 月 28 日） |

| | |
|-------------------|--|
| | 蔵書点検作業（6月28日～8月10日） |
| 平成 29(2017)年 8 月 | 附属図書館テーマ展示「いじめ」（8月1日～8月31日） |
| | 消費者教育プロジェクトとの連携で小学生・中学生を対象とした附属図書館テーマ展示「環境教育」を実施（8月10日～8月31日） 「ごみの話」解説:田村和之准教授（8月16日 午後2時～3時） |
| 平成 29(2017)年 9 月 | 四者協定に基づく徳島県立図書館 100 周年企画展示「なつかしの図書館写真展」を本学図書館で実施（9月1日～10月1日） |
| | 教育実習に対応するため平日の開館を1時間の延長（9月4日～9月29日の平日8時45分～22時） |
| 平成 29(2017)年 10 月 | 消費者教育プロジェクトとの連携で附属図書館テーマ展示「ネットにまつわる消費者トラブル・金銭管理教育」を実施（10月2日～11月9日） |
| | 児童図書室の書架増設 |
| 平成 29(2017)年 11 月 | 第4回鳴門教育大学ホームカミングデー関連企画「よみがえる世界の絵本オズボーン・コレクション」展示（11月7日～11月12日） |
| | 本の交換コーナー「よみがえる」を設置 |
| 平成 29(2017)年 12 月 | 利用者懇談会（学部生，大学院生） |
| 平成 30(2018)年 1 月 | 児童図書室団体貸出サービスを開始 |
| | 視聴覚室内に英語学習コーナーを設置 |
| 平成 30(2018)年 2 月 | 消費者教育プロジェクトとの連携で附属図書館テーマ展示「子どもの事故を防止する」を実施（2月9日～3月2日） |

規則・規程

鳴門教育大学附属図書館規則

平成16年 4月 1日
規則第 7 号

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人鳴門教育大学学則（平成16年学則第1号）第20条の規定に基づき、鳴門教育大学附属図書館（以下「附属図書館」という。）に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 附属図書館は、鳴門教育大学（以下「本学」という。）における教育、研究及び社会貢献等の諸活動を支援するため、図書、雑誌その他の図書館資料を一元的に収集、管理して、本学の職員、学生及び一般の利用者に供することを目的とする。

(管理運営)

第3条 附属図書館長は、附属図書館の管理運営を統括する。

(児童図書室)

第4条 附属図書館内に児童図書室を置く。

2 児童図書室の運営等に関し必要な事項は、別に定める。

(附属図書館運営委員会)

第5条 附属図書館の運営に関する重要事項を審議するため、附属図書館運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(細則)

第6条 この規則に定めるもののほか、附属図書館の利用に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

鳴門教育大学附属図書館利用規程

平成16年 4月 1日

規程第 75 号

改正 平成17年2月 9日規程第 1号

平成17年3月14日規程第23号

平成19年3月23日規程第51号

平成20年3月17日規程第32号

平成21年2月18日規程第 2号

平成21年5月22日規程第67号

平成22年3月10日規程第 5号

平成23年3月22日規程第12号

平成28年1月29日規程第 1号

平成30年6月22日規程第20号

(趣旨)

第1条 この規程は、鳴門教育大学附属図書館規則（平成16年規則第7号）第6条の規定に基づき、鳴門教育大学附属図書館（以下「附属図書館」という。）の利用に関し必要な事項を定める。

(利用者)

第2条 附属図書館を利用できる者（以下「利用者」という。）は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 国立大学法人鳴門教育大学（以下「本学」という。）の役員及び職員（非常勤職員を含む。以下「職員等」という。）
- (2) 本学の学生（研究生，科目等履修生，特別聴講学生及び特別研究学生を含む。以下同じ。）
- (3) 本学の各種研修員，国際学術研究員，外国人客員研究員及び特別研究員（以下「研修員等」という。）
- (4) 本学の名誉教授
- (5) 本学の元職員等（前号に該当する者を除く。）
- (6) 本学の卒業生及び修了生
- (7) その他一般利用者

(図書館利用証)

第3条 前条第1号に掲げる者は、身分証明書をもって図書館利用証（以下「利用証」という。）とする。

2 前条第2号に掲げる者は、学生証をもって利用証とする。

3 前条第3号から7号に掲げる者は、所定の手続きを経て、利用証の交付を受けることができる。

4 利用証を紛失した場合は、直ちに届けなければならない。なお、再交付を希望する者は、再交付願を提出し、再交付を受けることができる。

5 利用証は、他人に転貸してはならない。

(利用証の携行・提示)

第4条 利用者は、利用証を携行し、係員の求めに応じ、これを提示しなければならない。

(休館日)

第5条 附属図書館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 国立大学法人鳴門教育大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）

第28条第1項第4号に規定する休業期間中の土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「祝日」という。）

(2) 12月28日から翌年1月4日まで

(3) 大学入試センター試験日

(4) 学校教育学部一般選抜試験日

(5) 国立大学法人鳴門教育大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程（平成16年規程第18号。）第22条第19号に規定する全学一斉に休業する日

2 附属図書館長（以下「館長」という。）は、必要と認めるときは、前項の休館日を臨時に変更し、又は臨時に休館とすることができる。

(開館時間)

第6条 附属図書館の開館時間は、次のとおりとする。

月曜日から金曜日までは、8時45分から21時まで

土曜日、日曜日及び祝日は、10時から17時まで

2 前項の規定にかかわらず、学則第28条第1項第4号に規定する休業期間中の開館時間は、8時45分から17時までとする。

3 館長は、必要と認めるときは、前2項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

(館内閲覧)

第7条 利用者は、附属図書館に所蔵する図書、雑誌その他の資料（以下「資料」という。）を貴重図書等特に指定するものを除き、自由に閲覧することができる。

2 資料は、所定の場所で閲覧し、閲覧後は所定の場所に返却しなければならない。

3 館長は閲覧室が非常に混雑している場合等、教育研究に支障をきたすおそれがある場合は、閲覧利用を制限することができる。

(閲覧の制限)

第8条 前条第1項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる場合においては閲覧を制限することができる。

(1) 資料に独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成13年法律第140号。）第5条第1号及び第2号に掲げる情報（個人情報に係る部分等）が記録されていると認められる場合において、当該情報が記録されている部分

(2) 資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に法人その他の団体（国及び独立行政法人等を除く。）又は個人から寄贈又は寄託を受けている場合において、当該期間が経過するまでの間

(3) 資料の原本を利用させることにより、当該原本の破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合又は図書館において、当該原本が現に使用されている場合

(個人情報の漏えい防止)

第8条の2 附属図書館の資料に記録されている個人情報(生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。))をいう。)については、国立大学法人鳴門教育大学個人情報保護規則(平成17年規則第25号)の規定に準じて、その漏えい防止のための措置を講ずるものとする。

(貸出)

第9条 図書館資料の貸出(以下「貸出」という。)は、一般貸出及び特別貸出とする。

2 貸出を受けようとする利用者は、当該資料と利用証を提出し、所定の手続を経なければならない。

3 資料の貸出を受けた者は、貸出期間を遵守するとともに当該資料の保管に関し責任を負うものとする。

(一般貸出)

第10条 第2条第1号から第7号に規定する者への一般貸出冊数及び貸出期間は、別表第1のとおりとする。

2 館長が必要と認める場合は、前項に規定する貸出冊数又は貸出期間を臨時に変更することができる。

3 利用者は、貸出を受けた資料を指定の期日までに返却しなければならない。ただし、次の各号に該当するときは、貸出資料を直ちに返却しなければならない。

(1) 本学の職員等又は学生でなくなったとき。

(2) 本学の職員等で、休職するとき。

(3) 本学の学生で、休学するとき。

4 資料が貸出中の場合は、当該資料の予約をすることができる。

5 返却時において引き続き当該資料の貸出を希望する者は、前項に規定する予約がない場合は、貸出期間を1回に限り更新することができる。

6 貸出資料の返却を延滞している者は、貸出の冊数が限度内であっても、新たに貸出を受けることができない。

7 貸出期間を超過したときは、超過した日数に相当する日数の貸出を停止する。

(特別貸出)

第11条 本学の役員及び教員(以下「教員等」という。)は、教員等が研究費等によって購入した資料については特別貸出を受けることができる。ただし、当該資料を購入したコース等に所属する教員等が、優先的に特別貸出を受けることができる。

2 特別貸出の貸出冊数及び貸出期間は、別表第2のとおりとする。

3 特別貸出を受けた新着雑誌については、共同利用を図るとともに、学内外から利用の申出がある場合は、これに応じなければならない。

4 特別貸出を受けた者は、館長が特別貸出資料の点検を行うときは、これに応じなければならない。

5 特別貸出資料は、次の各号に掲げる場合が生じたときは、直ちに返却しなければならない。

- (1) 特別貸出を受ける必要がなくなったとき。
- (2) 本学の教員等でなくなったとき。
- (3) 館長が必要により返却を求めたとき。

(貸出禁止資料)

第12条 次の各号に掲げる資料については、原則として貸出を受けることができない。
ただし、前条に規定する特別貸出については、この限りでない。

- (1) 「禁帯出」の表示をした資料
- (2) マイクロ資料
- (3) 新聞（縮刷版を除く。）
- (4) 貴重図書及び準貴重図書
- (5) その他館長が指定した資料

(貴重図書及び準貴重図書)

第13条 貴重図書及び準貴重図書の指定及び取扱いについては、館長が別に定める。

(館内施設の利用)

第14条 貴重資料室、研究個室、セミナー室、大村はま学習記録閲覧室、児童図書室及びラーニング・コモンズ室の利用等に関し必要な事項は、館長が別に定める。

(参考調査)

第15条 利用者は、教育、研究又は学習のため必要があるときは、学術情報の提供を依頼することができる。

(文献複写)

第16条 利用者は教育、研究又は学習のため必要があるときは、文献複写を依頼することができる。

2 前項の文献複写に関し必要な事項は、鳴門教育大学附属図書館文献複写規程（平成16年規程第74号）の定めるところによる。

(相互利用)

第17条 第2条第1号から第4号に掲げる利用者は、教育、研究又は学習のため必要がある場合は、附属図書館を通じて、他の機関が所蔵する資料の複写その他の利用を依頼することができる。

2 他の機関から、本学が所蔵する資料の複写その他の利用の依頼があった場合は、学内の利用に支障のない範囲において、これに応ずるものとする。

(利用規律)

第18条 利用者は、この規程及び館長の指示する事項を遵守しなければならない。

2 館長は前項に違反した者に対しては、附属図書館の利用を制限することができる。

(弁償義務)

第19条 利用者は、資料及び施設・設備を汚損又は滅失したときは、ただちに係員に届け出るとともに、その損害を弁償しなければならない。

(雑則)

第20条 資料を利用者の閲覧に供するため、資料の目録及びこの規程を常時閲覧室に備え付けるものとする。

第21条 この規程に定めるもののほか、附属図書館の利用について必要な事項は館長が

別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年3月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年5月22日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年2月1日から施行する。ただし、第2条、第3条、第5条、第6条、第8条、第10条、第12条及び第17条の規定は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年6月22日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

別表第1（第10条第1項関係）

| 区 分 | 図書又は製本雑誌 | | | 未製本雑誌 | |
|---------------------------------|----------|---------|------|-------|-------------|
| | 貸出冊数 | 貸 出 期 間 | | 貸出冊数 | 貸出期間 |
| | | 図書 | 製本雑誌 | | |
| 本学の職員等，名誉教授，元職員等，大学院所属の学生及び研修員等 | 15冊以内 | 1か月以内 | 3日以内 | 3冊以内 | 次の開館日の12時まで |
| 本学の学部所属の学生 | 10冊以内 | 3週間以内 | | | |
| 本学の卒業生及び修了生 | 8冊以内 | 1か月以内 | | | |
| その他一般利用者 | 8冊以内 | 3週間以内 | | | |

- 備考 (1) 図書には，視聴覚資料を含み，雑誌及び製本雑誌は含まれない。
 (2) 視聴覚資料の貸出は，第2条第1号から第5号に掲げる者に限る。
 (3) 貸出期間の期限日が休館日となる場合の貸出期間は，次の開館日までとする。

別表第2（第11条第2項関係）

| 区 分 | 貸出冊数又は種類 | 貸出期間 | 更 新 |
|------|--------------|--------|-----|
| 図書 | 500冊以内 | 本学在職期間 | |
| 新着雑誌 | 貸出を希望するものすべて | 1か月以内 | 不可 |

- 備考 (1) 図書には，製本雑誌は含まれない。
 (2) 新着雑誌の貸出期間については，納入受付日から返却日までの期間とする。

鳴門教育大学附属図書館文献複写規程

平成16年 4月 1日
規程第 74 号

改正 平成26年 3月 7日規程第 5号
平成28年 1月 29日規程第 2号

(趣旨)

第1条 鳴門教育大学附属図書館が受託する文献複写については、公費を移算して行うものを除き、この規程の定めるところによる。

(資料の複写)

第2条 前条に規定する文献複写は、教育、研究又は学習の用に供することを目的とする場合に限り、受託することができる。

2 前項の資料の複写の申込みを希望するときは、所定の手続きにより申し込むものとする。

(文献複写料金)

第3条 前条の規定により申込みを希望した者は、文献複写料金を前納しなければならない。ただし、相殺によって処理するものについては、この限りでない。

2 文献複写料金は、別表のとおりとする。

3 納付した文献複写料金は、還付しない。

(著作権に関する責任)

第4条 文献複写に関する著作権上の責任は、申込者において負うものとする。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

別表 (第3条第2項関係)

| 複写の種別 | 料金の種別 | 規格 | 単位 | 文献複写料金 | |
|-------------|-------|-----------|-----------|---------------------------------|--|
| | | | | 利用規程第2条第1号から第4号に掲げる利用者の申込みに係るもの | 左以外の者及び利用規程第17条第2項に規定する他の機関からの申込みに係るもの |
| 電子複写方式 | 複写料 | A3判 まで | 1枚 につき | 20円 | 36円 |
| リーダープリンター方式 | | | | | |
| 通信費・送料 | | | | 実費 | |

鳴門教育大学附属図書館運営委員会規程

平成16年 4月 1日

規程第 73 号

改正 平成19年6月27日規程第59号
平成20年3月17日規程第31号
平成21年3月31日規程第45号
平成22年3月24日規程第55号
平成26年3月24日規程第34号
平成28年2月10日規程第15号
平成29年3月 8日規程第61号

(趣旨)

第1条 この規程は、鳴門教育大学附属図書館規則（平成16年規則第7号）第5条第2項の規定に基づき、鳴門教育大学附属図書館運営委員会（以下「委員会」という。）の運営に関し、必要な事項を定める。

(組織)

第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 附属図書館長
- (2) 児童図書室長
- (3) 各教育部に属する教員のうちから各2人
- (4) 教務企画部教務企画課長
- (5) その他附属図書館長の推薦に基づき学長が指名する者

(任期等)

第3条 前条第1項第3号に規定する委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前条第1項第5号に規定する委員の任期は、学長が別に定める。ただし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、附属図書館長をもって充て、副委員長は、委員の互選によって定める。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(審議事項)

第5条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 附属図書館の運営の基本方針に関する事項
- (2) 図書館システムの企画立案及び実施計画に関する事項
- (3) 附属図書館に係る規則、規程等に関する事項
- (4) 附属図書館に係る予算及び概算要求の基本方針に関する事項
- (5) 教育及び研究の活動と図書館活動との関係に関する事項
- (6) 他の関係機関との相互協力に関する事項
- (7) 図書館資料の選定及び調整に関する事項
- (8) 児童図書室の運営及び児童図書選定等に関する事項

(9) その他附属図書館長が必要と認める事項

(議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の者が出席しなければ、議事を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、意見を述べさせることができる。

(事務)

第8条 委員会の事務は、教務企画部教務企画課において処理する。

(細則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

2 第2条第1項第3号から第7号及び第9号により最初に選出された委員の任期は、第3条第1項及び第2項の規定にかかわらず、平成17年3月31日までとする。

附 則

この規程は、平成19年7月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

2 この規程に基づき委員となった者のうち、委員長が指名する者の最初の任期は、第3条第1項及び第2項の規定にかかわらず、平成21年3月31日までとし、これによる補欠委員の任期は、第3条第1項ただし書きの規定にかかわらず2年とする。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

鳴門教育大学附属図書館児童図書室運営規程

平成16年 4月 1日

規程第 76 号

改正 平成19年3月23日規程第39号

(趣旨)

第1条 この規程は、鳴門教育大学附属図書館規則（平成16年規則第7号）第4条第2項の規定に基づき、鳴門教育大学附属図書館児童図書室（以下「児童図書室」という。）に関し、必要な事項を定める。

(運営)

第2条 児童図書室に、児童図書室長（以下「室長」という。）を置き、室長は、附属図書館長の統括の下に、児童図書室の運営に関する業務を掌理する。

(室長)

第3条 室長は、教授又は准教授のうちから、附属図書館運営委員会の意見を聴いて、附属図書館長が指名する者をもって充てる。

2 室長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(細則)

第4条 この規程の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

キャンパスマップ



鳴門教育大学附属図書館概要 2018

平成30年8月発行

平成30年11月修正版発行

編集・発行 鳴門教育大学附属図書館

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地

TEL 088-687-6156

URL <http://www.naruto-u.ac.jp/library/>



鳴門教育大学附属図書館

Naruto University of Education Library